



## 佐久の札所

第7番札所 あかるさん 関伽流山明泉寺

佐久市香坂西地2772

平安朝の初期、天台宗慈覚大師が諸国を巡錫した頃、香坂一带は湖だったという。その風光が比叡山から琵琶湖周辺の景色に似ていたため、この地に関伽流山明泉寺を建立したと伝えられている。

山腹の鐘楼・観音堂脇には百体観音石仏の他、数多くの石仏群や、芭蕉句碑はじめ幾多の文学碑がある。また、関伽流城跡は南朝の忠臣香坂高宗が宗良親王を奉じた所と伝えられる。

仙人ヶ岳は、昭和天皇が御登山された所であり、佐久平を一望する展望台になっている。



## もくじ

支部長あいさつ…………… 2	御代田町フットパス事業…12
建設課長あいさつ…………… 3	着任挨拶……………13
佐久支部協議会…………… 4～5	新会員の声……………13
事業中間報告…………… 6	賛助会員の紹介……………14
委員会活動について… 7～9	県からのお知らせ……………15
30周年記念式典……………10～11	事務局より……………16



# ご挨拶

公益社団法人 長野県建築士会佐久支部

支部長 **白田 幸夫**



盛夏の候、会員の皆様には益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

2月20日に開催されました支部臨時協議会に於いて二期目の支部長としてその任をご承認頂きました。新天皇即位に伴い元号が平成から令和に改元され、更に4月1日より長野県建築士会は一般社団法人から公益社団法人へ移行しました。このような節目の年に重責を担うことに改めて身の引き締まる思いです。支部長として会員の皆様の声に耳を傾けながら会の運営に尽力する所存です。5月17日の支部通常協議会でご承認を頂きました新役員共々改めましてよろしくお願ひ申し上げます。

昨年度は、新生佐久支部の30周年記念事業が会員皆様のご協力により成功裏に終えることが出来ました。この事業の中でも特に注目し挨拶の中でも度々申し上げて来ましたが、支部の青年女性委員会の活躍に対し改めて敬意を表します。昨年度より実践活動を続けております「御代田フットパス」事業を長野県建築士会を代表し6月21日に開催されました関プロ埼玉大会へ参加し活動報告をして来ましたが、1都9県の建築士会の発表は内容もプレゼンも非常にレベルアップしていたと感じました。結果は最優秀賞に地元の埼玉県建築士会の活動報告が受賞されました。埼玉県建築士会の

皆様に心よりお祝いを申し上げ、来る全国大会〔北海道大会〕でのご健闘をお祈り申し上げます。「御代田フットパス」事業は地域に埋もれた歴史・文化に光を当て地元の皆さんにも地域を再発見して頂いたとても素晴らしい活動だと思います。この計画を立案された山田さん、発表者の真嶋さん、前委員長の緑川さん、そして鎌田委員長はじめ青年女性委員会の皆さんには本当にお疲れ様でした。この事業はまだまだ続きます。この秋にイベントが計画されていますが、この活動が更に地域に根付くことを願っています。

今年度は支部委員会の再編を行いました。昨年来、社会貢献委員会へ多くの事業が集中して来たことを踏まえ、この委員会の活動内容を三つの分野に分けて整理をしました。一つは防災に関わる活動です。応急危険度判定士の育成、連絡網の整備、行政との防災協定に関する連絡・協議などです。二つ目は支部全体で取り組んでいるウッドクラフトと、ねむの木の空き枡花植作業など地域社会への貢献的な活動、三つ目は行政との関わりのある分野で空き家等に関する相談会の実施、インスペクション業務、ヘリテージマネージャー、行政の係るまちづくりへの参加、更に福祉に関する事など多岐に渡っていますが皆様に協力を頂きながら進めて行きたいと考えています。

一つ目の分野は既存の総務企画委員会へ、二つ目は新設した地域貢献委員会へ、そして最後も新設した地域まちづくり委員会とそれぞれ分けました。公益社団法人に移行したからと言って今までの活動が急に変わることはありませんが、地域社会に貢献することは建築士にとって大きな役割の一つです。

又、今年度の事業計画の中の一つに東信ブロックの協働事業を掲げました。会員の減少に歯止めがかからない今、隣の支部とも連携を取りながら共に考えていきたいと思っています。

当支部所属の荻原前副会長（前支部長）が先の総会において新会長として承認されました。公益社団法人長野県建築士会の先頭に立ち建築士会が「地域に応える会」「骨太体制の会」そして「期待される会」を目指して更なる飛躍を願い、佐久支部として支えて行かなければなりません。荻原新会長にはご健康に留意され会の為、益々ご活躍をされますことを祈念致します。

結びに、会員各位のご多幸と更なる発展を心よりお祈り申し上げまして挨拶とさせていただきます。



# ご挨拶

長野県佐久建設事務所

建築課長 **金子 裕**



昨年に引き続きまして、2年目となりますが、よろしく申し上げます。

長野県建築士会佐久支部の皆様方には、日ごろから県の建築・住宅行政の推進にあたり、ご理解・ご協力を賜り、特に社会貢献への取り組みとして、市町村における空き家対策への協力や、まちづくりにおける取り組みをいただくほか、災害時における被災建築物応急判定活動の協力や住宅相談の実施に関する協定の締結を行っていただくなど、日頃から多大なご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、佐久支部におかれましては、平成の時代と同じくして30周年を迎えられ、この4月には建築士会が公益社団法人に改組されました。その間、支部の発展に御尽力されました支部長をはじめ役員の皆様、これを支えてこられました会員の皆様に敬意を表します。

さて、県では、昨年より総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン2.0～学びと自治の力で拓く新時代～」を推進しております。本計画は、令和4年度を計

画年度とし、「確かな暮らしが営まれる美しい信州」を基本目標に掲げています。

この計画の中で、当地域での取り組みの一つである、移住・二地域居住を推進するため、空き家対策の推進やコンパクト住宅の普及をし、中古住宅に対するインスペクション費用に対する補助を行います。また、いのちを守り育む県づくりとしまして、引き続き令和2年度における住宅の耐震化率の目標を90%とし、耐震化を促進します。佐久合同庁舎も引き続き耐震改修工事を行っておりまして、ご不便をかけますがご理解をお願いします。そのほか、環境住宅配慮型住宅の新築・リフォームに対して助成を行います。多くの方に利用をされるよう、皆様のご協力をお願いします。さらに、総合5か年計画の推進にあたりましては、副題にありますように、「学びと自治の力」を推進エンジンとして政策を展開しております。会員の皆様におかれましても、建築士事務所の所属建築士の定期講習や今年の改正建築基準法や改正建築士事務所業務報酬基準の講習などに積極的に参加をし、それぞれの立場での活動により5か年計画の推進にご支援をお願いします。

平成30年度の新設住宅着工戸数の状況を見ますと、全国では対前年度比0.7%の増、県内では3.0%の増でしたが、佐久管内では11.4%の減となっております。消費税率の引き上げ前の駆け込みは限定的とみられましたが、今年10月の住宅取得への支援策拡充や、中部横断道の延伸による効果など、今後の建築状況が予想しがたいところがあります。

このような状況の中、この個性と魅力豊かな佐久地域を、より活力に満ちた、安全で安心して暮らせる地域とするためには、地域の実情を把握されている皆様方のお力なくしてはできません。今後とも、県の建築住宅行政に一層のご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

最後に、令和の新時代に向けて、建築士会佐久支部の益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝とご活躍を御祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



# 平成31年度 佐久支部協議会

## 平成31年度～令和2年度 (公社) 長野県建築士会佐久支部委員会名簿

佐久支部第9回協議会が5月17日に、佐久グランドホテルに於いて盛大に開催されました。各委員の氏名は下記のとおりです。



### ◎総務・企画委員会

担当副支部長 菊池副支部長  
 委員長 片井 英治 (佐久)  
 副委員長 大井 正広 (小諸)  
 委員 星野 武光 (佐久)  
 〃 箕輪 義則 (川西)  
 〃 上原 啓二 (御代田・軽井沢)  
 〃 堀内 文雄 (南佐久)

### ◎教育・事業委員会

担当副支部長 清水副支部長  
 委員長 大町 栄一 (川西)  
 副委員長 白鳥 正司 (小諸)  
 〃 小平 稔 (佐久)  
 委員 竹花 彰男 (佐久)  
 〃 鈴木 繁之 (川西)  
 〃 小林 千恵 (御代田・軽井沢)  
 〃 高見澤 晃 (南佐久)  
 〃 小林 賢司 (一般 佐久)

### ◎地域貢献委員会

担当副支部長 高橋副支部長  
 委員長 星野 武光 (佐久)  
 副委員長 山田 功 (御代田・軽井沢)  
 〃 小泉 正樹 (川西)  
 〃 緑川 博行 (佐久)  
 委員 荒木 貴志 (小諸)  
 〃 田村 優美子 (佐久)  
 〃 重田 仁志 (川西)  
 〃 佐藤 成暁 (南佐久)  
 〃 油井 満夫 (南佐久)  
 〃 菊池 広美 (一般 佐久)  
 〃 小林 由美子 (一般 佐久)  
 〃 高橋 美貴 (一般 佐久)  
 〃 今井 直和 (一般 南佐久)  
 〃 芋川 聡 (一般 南佐久)  
 〃 甘利 佐賀男 (一般 小諸)  
 〃 飯田 篤 (一般 佐久)  
 〃 真嶋 和紀 (一般 佐久)

## ◎情報・広報委員会

担当副支部長 土屋副支部長  
 委員長 両川 正 (御代田・軽井沢)  
 副委員長 櫻井 和也 (南佐久)  
 〃 小林夕起男 (一般 佐久)  
 委員 大竹 雅英 (小諸)  
 〃 山浦 孝志 (小諸)  
 〃 佐野孝太郎 (御代田・軽井沢)  
 〃 阿部 義則 (一般 佐久)  
 〃 小林 清 (一般 佐久)  
 〃 荒井 央 (一般 佐久)  
 〃 飯沼 勝智 (一般 川西)  
 〃 小穴 久江 (一般 南佐久)  
 〃 本田 典子 (一般 南佐久)

## ◎地域まちづくり委員会

担当副支部長 白田支部長  
 委員長 小泉 仁 (御代田・軽井沢)  
 副委員長 新津 輝秋 (佐久)  
 委員 大竹 雅英 (小諸)  
 〃 柏木 邦彦 (佐久)  
 〃 竹花 彰男 (佐久)  
 〃 星野 武光 (佐久)  
 〃 柳澤 緑 (佐久)  
 〃 市川 将明 (御代田・軽井沢)  
 〃 高橋 美喜 (南佐久)  
 〃 甘利佐賀男 (一般 小諸)  
 〃 新井 洋輔 (一般 小諸)  
 〃 石山 和恵 (一般 佐久)  
 〃 羽鳥 義直 (一般 御代田・軽井沢)

## ◎青年・女性委員会

担当副支部長 中島副支部長  
 委員長 鎌田 賢太郎 (青年女性委員長)  
 副委員長 飯田 智 (一般 佐久)  
 〃 齊藤 絵美 (一般 小諸)  
 〃 山田まどか (一般 御代田・軽井沢)  
 〃 佐藤 成暁 (南佐久)  
 〃 柳澤 洋介 (一般 佐久)  
 委員 井出 正臣 (一般 南佐久)  
 〃 真嶋 直行 (一般 御代田・軽井沢)  
 〃 新津 輝秋 (一般 佐久)  
 〃 佐藤 穂高 (一般 佐久)  
 〃 緑川 博行 (佐久)  
 〃 井野 勇志 (一般 御代田・軽井沢)  
 〃 星野 仁 (一般 佐久)  
 〃 青木 浩之 (一般 佐久)  
 〃 小林 千恵 (一般 御代田・軽井沢)  
 〃 新津加奈子 (一般 佐久)  
 〃 石山 和恵 (一般 佐久)  
 〃 今井 直和 (一般 南佐久)  
 〃 他45歳以下の男性及び女性



# 平成31年度事業中間報告

月 日	行 事 名	場 所
4.1~4.22	二級・木造建築士試験申込用紙配布	
4.5~5.13	一級建築士試験申込用紙配布	
4.4	第4回三役会及び第4回幹事会	佐久グランドホテル
4.5	信州花フェスタイベント企画プロジェクト会議	長野県建築士会館
4.11	県資格委員会	長野県建築士会館
4.16	第7回社会貢献委員会	佐久市民創錬センター
4.16	県青年女性委員会	長野県建築士会館
4.17	県総務情報委員会	長野県建築士会館
4.19	県フォーラム実行委員会	長野県建築士会館
4.22	新三役・委員長予定者打合せ会議	佐久市民創錬センター
4.26	県三役会	長野県建築士会館
5.5	信州花フェスタ ウッドクラフトイベント出展	長野県松本平広域公園
5.8	新旧三役会	かいせん問屋ごう
5.10	県理事会	長野県建築士会館
5.17	第9回協議会	佐久グランドホテル
5.17	第1回幹事会	佐久グランドホテル
5.18	東信ブロック協働事業 祢津地区現地視察	東御市
5.20	県役員選考委員会	長野県建築士会館
5.20	第8回青年女性委員会	佐久平交流センター
5.24	住まいに関するお金についての勉強会 及び新入会員歓迎会	かつ栄
5.25	第69回通常総会	ホテルブエナビスタ
6.1	信州花フェスタ反省会	晴美家
6.7	県三役会及び理事会	犀北館ホテル
6.7	景観授業	泉小学校
6.9	御代田フットパス事業 写真フットパス	御代田町
6.10	佐久南インター景観をつくる会花植え作業	泉地区・岸野地区
6.14	県青年女性委員会	長野県建築士会館
6.17	第1回青年女性委員会	佐久平交流センター
6.19	第1回三役会及び第2回幹事会	佐久グランドホテル
6.20	県建築活動委員会	長野県建築士会館
6.21	関プロ埼玉大会	埼玉県
6.24	第1回総務企画委員会	かつ栄
6.28	空き家対策佐久地域連絡会	佐久建設事務所

平成31年度

## 総務・企画委員会活動について

総務企画委員長 片井 英治

このたび臼田支部長より、総務企画委員長を仰せつかりました片井と申します。

昭和の時代46年生まれでございます。ギリギリ40代です。まだ50代ではありません。こんな若造で良いのでしょうか？（もう若くはないよ）支部長大丈夫なんですか？（不安だけどね）何度も訴えましたが、天の声は揺るぎません！総務企画委員として2年間勤めました、まさかこんな重要な役にお声が掛かるとは思ってもみませんでした。丁寧にお断りしたつもりでしたが、諸先輩方のあたたかい（はいって…）お言葉を頂き、力不足を承知の上で受けたところでございます。

本年度事業は、例年通り、支部規約・運用規則の改正の検討。会員の福利厚生。研修旅行の実施。新年講演会の実施です。これに防災関連の事業を新たに担当することとなりました。（や…）応急危険度判定士の名簿の整理。協定を結んだ市町村との連絡。防災マップの見直し作業。1町4村の防災マップを地域貢献委員会と共同で作成。当然はじめての事が多く、しばらくは委員会の垣根を越えた連携が必要となっております。

今後は浅学非才の身ではありますが、委員会に課せられた役割を果たすべく、身を粉にして働く覚悟でございます。皆さまには、何とぞ、厚いご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



平成31年度

## 教育・事業委員会活動について

教育事業委員長 大町 栄一

令和元年より教育・事業委員長を仰せつかりました。何かと不慣れなため、副支部長の清水さん前年度も副委員長として活躍された小平さん、白鳥さんの絶大な協力体制のもと委員メンバーと協力して活動していく所存です。

さて、あらためて教育事業委員会の活動目的は何なのか？佐久支部の定めによるところ、

1. 会員の技術、資質向上に関する事業の実施（今まで年5～6回の実務講習会の開催）
2. 建物見学会等の企画、実施
3. 佐久支部建築文化賞の企画、実施（隔年）

となっております。今年度より長野県建築士会は公益社団法人となり、建築士会員のみならず一般社会にも向けて公益性の高い活動が要求されています。

実務講習会は法律、新工法、IT技術など多岐部門に渡り会員対象の講習会を開催予定したいと考えていますが、一般社会へ向けての講習会とはどのような必要があるのでしょうか。また建物見学会を開催するときも一般社会へ告知したら予想外に集まり過ぎて収拾がつかなくなることも予想されます。（ちなみに自分が手掛けたJAXA深宇宙探査用地上局アンテナGREAT54とか現在建設中の新クリーンセンターなど普段見られない建物の見学会も検討しています。）交通、安全、万一の保証等課題は山積みです。会員、賛助会員の皆様の協力をお願いいたします。



平成31年度

## 「支部：建築士のボランティア活動にご参加ください」

地域貢献委員会委員長 星野 武光

本年度から地域貢献委員長を仰せつかりました星野です。よろしくお願ひいたします。

昨年度まで佐久支部では社会貢献委員会となっていました。建築士に求められる活動の多様化から委員会の組織再編されました。この「地域貢献委員会」では、地域に住まわれる住民の方々と建築士と一緒に取り組む活動を行う委員会となりました。これは本年度から長野県建築士会が「公益法人」へ移行した年にあつて、建築士としての職能を活かし地域で行う大切な役割りを果たすと感じています。

委員会の活動を分かりやすく言うと、佐久支部が地域に対して行うボランティア活動の企画、実施となります。建築士といっても佐久支部は300名を超えますので会員の皆さん、それぞれの得意とされることも異なってくると思います。それで会員の皆さまへのお願いなのですが、支部としてすでに多岐にわたるボランティア活動があります。是非とも1年に一度は、支部会員としてボランティア活動にご参加の目標を持って頂けたらと思います。建築士として、また佐久支部会員として地域の方と汗を流してみるのはいかがですか。すでに予定されています本年度の活動です。

●10月下旬「佐久南インター景観をつくる会」佐久南インター周辺142号線沿ひ

体力系：地域の泉小学校6年生と6月に植えた花等の片付け作業。

●11月上旬「親子でつくろう！ウッドクラフト」イオン佐久平店イベントホール

体力・技術系：建築確認申請の流れも学びながら、イス、花台、CDラックを親子でつくるのをサポート。

●9月～「東信ブロック交流まちづくり活動」三支部合同：上小、埴科支部と共に旧祢津村を調査

調査・まちづくり系：地域の風土、歴史等を調査して資料化して建築士として関わる活動。

●9月～3月「防災マップ作成事業」総務委員会と協働：応急危険度判定協定による

PC作成・技術系：昨年度、新たに佐久支部と協定を結んだ南佐久町村の防災マップ作成。

参加されたい事業があれば今から支部事務局までご連絡ください。また事業詳細が決まり次第、会報に開催内容、申込み書が挟み込まれますので宜しくお願いいたします。

最後に、事業のご案内になってしまいましたが引き続きご教授、ご協力の程宜しくお願いいたします。

平成31年度

## ご挨拶

情報広報委員長 両川 正

昨年より建築士会佐久支部の幹事会に参加させて頂き、執行部の皆様のお顔とお名前を覚える事が精一杯な1年が過ぎ、本年度より、情報広報委員長を仰せつかりました。

昨年は社会貢献委員会に所属しており、情報広報委員会は未経験で全くの経験不足で、そこに私の能力不足が加わってしまっております。そんなところで、役を果たして行こうとの所存はありますが、その様な諸事情であります。何卒、建築士会に所属の皆様には、一層のお力添えの程、宜しくお願い致します。

また、原稿をお願いしました皆様には、ご多忙の中のご協力に感謝申し上げます。

情報広報委員会の主な活動として、年2回、発行の会報「ちくま」と、建築士会佐久支部のホームページでの情報発信があると思います。

昨今のインターネットの発展をみると、スマートフォンやタブレットを用い、現場で住宅設備のメーカーのホームページで図面を確認できたり、寝付けぬ夜に横になりながらネットサーフし、自分の好きな情報を得る事ができます。

この委員会では何も経験のないもの私の発想ですが、建築士会佐久支部の皆様の活動が一般の方々に見えるページがあり、例えば、仕事で手掛けている既存住宅調査の光景を会員の方がページにアップでき、または、設計した建物の現場状況を会員がアップし、その事により、一般の方々のアクセスを獲得できる佐久支部のソーシャル・ネットワーキング・サービスができないか？と思考中です。その様な集客を出来るページを作り、今後の会員の皆様のプラスになれないかと思案中です。

長野県建築士会が、一般社団法人から公益社団法人に移行した新年度、一般の方に向けてネットを通じて、より多くの情報発信が出来ればと考えております。

今後共、宜しくお願い申し上げます。





平成31年度

## 青年女性委員会について

青年女性委員長 鎌田賢太郎

本年度から、青年女性委員長を務めさせて頂く、鎌田賢太郎です。

この10年間の本委員会の活動は、県内を超え全国からも注目をされるようになりました。

これも支部会員の皆様のご支援あつての賜物と、改めて感謝申し上げます。

しかし、本委員会も将来を見据えると大きな課題を抱えており、若手委員不足の状況が顕著に表れ始めております。現在、名簿上の青年女性委員は62名となっておりますが、2年後には45歳を超える委員が22名卒業して「40名に減少」し、4年後には「半数以下まで減少」する状況にあります。

新入会員の誘致においては、支部会員皆様のご協力も仰ぎたい所存ですので、身近な若手建築士へのお声掛けをお願い申し上げます。

同時に委員会内では、委員内の雰囲気や団結を築きつつ、若手の委員の方々へ、この10年間で培った功績を引き継いでいきたいと考えております。

本年度の活動は、例年より継続している

- ・新入会員歓迎会／支部事業
- ・泉小学校景観授業&アダプト作業／支部事業
- ・建築士免許授与式／支部事業
- ・御代田フットパス／支部事業
- ・ECOコンテスト／本会事業
- ・建築士セッション／本会事業
- ・青年女性の集い／本会事業

と、支部と本会を股にかけた多くの事業と共に、2年後の「関プロin長野大会」の実行委員会も発足し、本会活動と並行して大会の準備も始まっています。

また支部活動において、11月に一般参加者も交えた2年目の大きなイベントとなる「御代田フットパス」を計画しております。

青年女性委員会の活動を通して、若手建築士の資質向上と共に、社会貢献への意義を考える委員会を目指したいと考えておりますので、ご支援ご鞭撻の程をよろしくお願い申し上げます。

平成31年度

## 新任のあいさつ

地域まちづくり委員長 小泉 仁

この度地域まちづくり委員会の委員長をさせて頂きたくことになりました御代田・軽井沢地区の小泉と申します。よろしくお願いいたします。

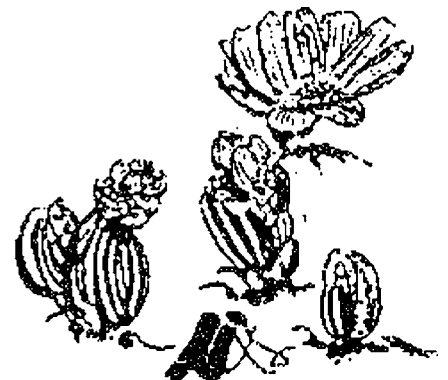
この地域まちづくり委員会は、元々昨年度まででありました社会貢献委員会の担当する内容が多方面に渡り拡大してきたことに対し、その担当の一端を担うべく新設された委員会となっております。主に担当する内容は他の委員会との連携する内容も含め、行政機関とのパイプ役になり積極的に関わってまいります。

ここで簡単にはありませんが“行政との関わり”についていったいどんなことをしていくのか紹介していきたいと思っております。

- ・佐久穂町新築住宅助成金制度の要件確認業務の実施
- ・小諸市との空き家に関する協定締結の推進
- ・各市町村の空き家等に関する住宅相談の実施
- ・佐久市の移住セミナーへの協力
- ・住宅ストック（インスペクション）に関すること
- ・ヘリテージマネージャーに関すること
- ・景観整備機構等々です。

佐久穂町の新築助成金制度の要件確認業務に関しては（6月末現在）すでに数件佐久穂町より業務依頼があり、会員の方々に業務をこなしていただいております。個人事業主の会員の方々になってはしましますが、不公平にならぬようできるだけ多くの会員の方々に仕事の依頼をしていきますので、連絡を受けた際には積極的に請けていただきたくお願いいたします。

新設の委員会の委員長ということで不慣れで何かとご迷惑をお掛けするとは思いますが、担当三役の臼田支部長をはじめ委員会の皆様に助けて頂きながらこの委員会を盛り立てていきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。



## 30周年記念講演会・小川三夫氏の講演を聞いて

佐久支部 **今井 直和**

「不揃いの木を組む」という演題にて講演をして頂きました。

その中、興味深かった事がいくつかありましたので述べたいと思います。

まずは、西岡棟梁のところへの弟子入りする為に頼みにいきましたが何度も断られそれでも自分のやりたい事を諦めず、宮大工に近い仏壇の屋根を造る仕事をして弟子入りして、弟子入りした後も納屋の掃除そして毎日のように刃物研ぎその上に、新聞・テレビは許されないというお話を聞いて今現在の私達には考えられませんでした。しかし、このような厳しい環境を経験することも重要なことだと思いました。

2つ目は、昔は木材を運ぶのに物凄く時間がかかるので木が十分に乾燥した状態で使用できたが今は輸送方法にも変化して山から切り出した木はすぐに使える

そのため、建物が完成してからの狂いが出やすいお話があり、「暴れる木は、暴れさせてから使う」と一言。

今現在の私たちは乾燥材に頼るばかりで考えのなっかたお言葉でした。

3つ目は、木の使い方について小川三夫棟梁のお話では木の目を優先するのではなく年輪の目が細かい方が北側（北面）にくるように使うとのことでした。このお話を聞いて疑問におもいましたが「山で生えていた状態のままを使うことにより、木を長持ちさせることができる」と教えて頂き、仕上げ面を優先に考える私達にはとても良いお話が聞けました。

4つ目は、寺社の柱の加工技術です。基礎も土台のない石だけの上に石の形状を柱に墨付けをして手刻みで加工して垂直に建てるということが出来るという貴重なお話も聞くことが出来ました。

最後になりますが、今の日本では建材（木材）を含め輸入に頼る事が多くなってきてそれが当たり前となってきていますが今回お話を聞いて、国内の木材の良さを再確認して使用すると共に伝統技術を引継ぎこれからの建築に繋げていかないといけないと感じました。





### 経歴

栃木県矢板市出身。

高校の修学旅行で法隆寺五重塔を見たことがきっかけとなり、卒業後法隆寺宮大工の西岡常一の門を叩くが断られる。

仏壇屋などで修行をした後に、22歳で西岡棟梁の唯一の内弟子となる。生前西岡は小川を評して「たった一人の弟子であるけれども、私の魂を受け継いでくれてると思います。」と述べている。法輪寺三重塔、薬師寺金堂、薬師寺西塔（三重塔）の再建に副棟梁として活躍。

1977年徒弟制を基礎とした寺社建築専門の建設会社「鵜工舎」を設立。弟子の育成とともに、国土安穩寺、国泰寺[要曖昧さ回避]ほか全国各地の寺院の改修、再建、新築等にあたる。

### 著書

『木のいのち木のころ（天）（共著・西岡常一、塩野米松）（草思社）

『木のいのち木のころ（地）（共著・西岡常一、塩野米松）（草思社）

『木のいのち木のころ（人）（共著・西岡常一、塩野米松）（草思社）

『不揃いの木を組む』（草思社）

『棟梁 ～技を伝え、人を育てる～』（文藝春秋）



# 関東甲信越建築士会ブロック会に参加して

## 小林 千恵

6月21日に埼玉県秩父市にて関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会（関ブロ）が開催されました。長野県代表として佐久支部が御代田フットパスの活動について発表を行いました。各都県様々な活動がありましたので私が興味を惹かれたものを紹介させていただきます。

神奈川県建築士会の発表は横浜の関内地区での“フォトログ”大会開催に向けての活動でした。“フォトログ”とはフォトログイニングの略で、チェックポイントとその得点を設定し地図にしたものを参加者に配り、時間内にチェックポイントを回り得点を集め合計点を競うスポーツです。私も今回初めてフォトログというものを知りました。チェックポイントを歴史的建造物や今はあまり知られていない建築物とすることで新たな地域の一面を見出す事に繋がるという事でした。新たな地域の発見というところがフットパスと似ていると感じ、今後フォトログを取り入れても面白いと思いました。

新潟県建築士会の発表は“学生と企業を結ぶ仲人事業”の活動でした。県内の学生が地元企業に就職する事を促すという目的に、地元企業が講師の建築講座を開催し講座内に企業PRタイムを設け学生に地元企業

を知ってもらい、参加した学生に企業PRシートを送付、また就職ガイダンス合同企業説明会の開催も行ったとの事でした。またこの事業へ賛同をしてくれた長岡市が広報支援や事業に対しての事業費の補助をしてくれ全国初の「産・官・学」の連携事業として活動しているとの事でした。なかなかここまでの連携活動をする為には人も時間も事業費も必要だとは思いますが、この新潟県建築士会の活動が全国的に広まれば建築を目指す学生が地元の企業へ就職が増え、地方が活性化するのではないかと思います。

今回の最優秀賞は埼玉建築士会の埼玉県産材を使った木組みのジャングルジムワークショップの活動でした。地元産の木材の伝統的構法を応用した柱、貫、楔だけで構成されたジャングルジムの部材を子供と一緒に組み立てることで子供に建築の楽しさを知ってもらい、ものづくりに親しんでもらう事で将来の建築士を志してもらい、保護者の皆さんには地元産の木材について説明をし地元産木材の使用について考えてもらうという活動でした。昨年度の安曇野支部の積木もそうでしたが遊び楽しみながら地元の木材や問題等を説明し考えてもらうという事がとても良いと思いました。

他県の活動を知り、詳しく内容を説明してもらい一緒に考える事が出来る機会というものなかなかありません。次回も参加したいと思います。



## 「ちくま」着任のご挨拶

長野県佐久建設事務所建築課 技師 竹内 利宗



今年の4月に佐久建設事務所建築課に配属になりました竹内利宗と申します。

長野県職員になり、都市・まちづくり課、長野建設事務所建築課の勤務を経て、3カ所目の勤務となります。佐久市西側地域及び南佐久郡の法令審査、空き家対策、住宅

の新築・リフォームの補助金などの業務を担当しますので、よろしくお願いたします。

私は長野市の出身で、生まれてからのほとんどを長野市で生活してきたので、長野市以外の地での生活に期待と不安が入り混じった中赴任してまいりました。佐久市には、学生時代に友達がいたため、たまに遊びに来ており、県内の他地域に比べて多少縁がある地域かなと思っていますが、その頃はまさか自分が佐久で働くことになるとは思っていませんでした。検査日や休日に車を走らせていると、行ったことがあるお店を見つけることがあり、当時を思い出して懐かしい気持ちになっています。

遊びに来てはいましたが、当時は軽井沢町や佐久平駅周辺で散策したりご飯を食べたりする程度だったので、担当地区のことはほとんど知らず、検査のたびに地図を確認しながら行ったり来たりしている状態です。休日にいろいろなところに出掛けるのが好きなので、プライベートでは佐久地域を満喫しつつ、地域の特色や道を覚えて、業務にも生かしていければいいなと思っています。観光スポット、美味しいご飯屋さん、抜け道など地元民おすすめの情報を教えていただくと嬉しく思います。

異動してきたばかりで、まだ至らないところが多く、皆様にはご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。

最後に、長野県建築士会佐久支部の会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、着任の挨拶とさせていただきます。

## 新入会員の声

遠野未来建築事務所 遠野 未来

昨年入会させていただきました遠野未来建築事務所 遠野未来と申します。これまでも勉強会や会合に何度か参加させていただき、先輩方にご挨拶させていただきましたが、まだお会いしたことがない方も多く、この場を借りて入会のご挨拶をさせていただきます。

私は仙台出身で、30年以上東京で活動してまいり、3年前を機に軽井沢追分に移転し、設計監理のお仕事をさせていただいています。そして今年、その作品「Shell House／もりのことば」で第14回の長野県建築文化賞の住宅部門の最優秀賞（県知事賞）をいただくことになり、誠に光栄に思っています。木を伐るところから始め、ほとんどが長野の木と土でつくった木造の別荘ですが「いえ」ではなく、「ことば」とつけたのは、その地の素材を使いすべてが響き合う「有機的な建築」を目指していることと、手を使いながら自分の身体から出た自分の「ことば」で建築をつくりたいという思いからです。自分の最大の建築的なテーマは「現代の土の建築をつくる。」ということで、「土」は伝統構法にとどまらず、省エネ・省資源の時代に最先端の素材として世界的に注目されており、大学の研究室や世界の方々と情報交換しながら世界に向けても長野から情報を発信し、A+AwardやTerra Award等海外の建築賞でも受賞・入賞をしています。

長野県建築士会に入会し、その活動と皆様の交流が活発なことに感心しておりますが、長野でいいのはものづくりの「つくり手」と木と土という「素材」が豊富にあることです。私もその2つに向き合いながら長野から世界に向け建築をつくりたいと思っており、現在は佐久の森林組合様とカラマツの魅力を発信する「カラマツ・コンテナ」の設計をさせていただいています。今後皆様に教わりながら、会の活動に積極的に参加させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 賛助会員の紹介

ニチハ株式会社長野営業所

長野建築士会佐久支部会員の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

弊社は、昭和31年に木材資源の有効利用を目的に日本ハードボード工業株式会社として設立されました。半世紀以上に渡り、常に新しい商品とその製造技術の開発によって、建築材料の新たな可能性を追求してまいりました。今後も「素晴らしい人間環境づくり」を企業スローガンに世界で通用する「建物の壁材専門メーカー」を目指すとともに、お客様にも地球にも優しい環境を提供し続けることを使命と考え、国内外のお客様のニーズを反映した高付加価値商品・ビジネスモデルの絶え間ない開発と市場へのご提案・ご提供を行ってまいります。

◎当社の取り組み

〈シェアアップ〉

窯業系サイディングは、プレミアムシリーズ（塗膜30年保証品）やFu-geをはじめとする高付加価値品のさらなる拡販により、高まりを見せる高耐久品へのニーズに対応してまいります。

金属サイディングは、昨年7月に発売した「カーレンリーフ」が特にご好評をいただいています。金属ならではのシャープなデザインが特徴で、耐久性に優れたフッ素鋼板を採用しています。住宅・非住宅問わず幅広くご採用いただいています。

〈非住宅市場の販路拡大〉

これまでの商業施設向け開拓に加え、新たな取り組みとして中高層向け市場にも注力しています。従来、住宅外壁材を使用した施工高さは原則13m以下とされていましたが、弊社では独自の工法により20mまで使用できるようにしていました。2018年には、新たな工法を開発し、RC造では45mまでの施工が可能となりました。高さ45mは14階建てのマンションに相当し、新築、改修を含めて大きな潜在需要を見込んでいます。

〈海外展開〉

米国の堅調な推移を見込み、昨年7月に米国の新工場建設を決定しました。2020年度下期の稼働に向け、着々と準備を進めています。米国以外の海外市場開拓にも取り組んでまいります。

最後に、長野県建築士会会員の皆様の益々のご活躍、ご発展を心よりお祈り申し上げます。



## 賛助会員の紹介

株式会社 司硝子

長野県建築士会佐久支部会員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、平素は格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

弊社株式会社司硝子は昭和56年4月、佐久市原に設立し、38年の間皆さまのおかげをもちまして業務に携わらせていただいております。

弊社は、ビル用ガラス、建具工事をはじめ、住宅用サッシ、ガラスブロック工事、鏡工事、フィルム工事、金物工事等を行っております。

長年培ってまいりました、技術、知識により、環境保護・エネルギー効率化・安全性を追究し、取り扱い商品がもつ特性を活かすことで、より快適な住空間の提案・設計・施工をいたします。

また設計事務所様をはじめ、スーパーゼネコン様、地域を代表する建築会社様、個人のお客様まで幅広く対応させていただいております。

今後とも地域の発展に寄与できますよう、努めてまいります。

最後に長野県建築士会佐久支部会員皆様のますますのご活躍、御発展をお祈り申し上げます。

### 1、おもな施工実績

- \* J R 佐久平駅
- \* 浅間総合病院
- \* 佐久平交流センター
- \* 佐久市立近代美術館
- \* 佐久警察署
- \* 佐久市民創錬センター
- \* 佐久総合運動公園（陸上競技場、野球場）

など。

### 2、主な事業内容

- \* ガラス工事
- \* ビル、住宅用建具工事
- \* ガラスブロック工事
- \* 鏡工事
- \* フィルム工事
- \* ステンドガラス工事
- \* デザインガラス提案、作成、工事

など。

# 第11回佐久地域景観賞募集

みんなで守り育てる佐久の景観・すばらしい佐久の景観を募集します！

## 1 景観賞とは

佐久地域特有の環境や情緒を生かした、建築物や工作物及びまちづくり活動を募集し表彰することにより、地域住民のまちづくり・景観に対する関心を高め、特色ある魅力的な景観育成活動の推進を図ります。

## 2 応募資格

佐久建設事務所管内における建築物や工作物及びまちづくり活動であれば資格は問いません。

## 3 募集期間

令和元年 7月1日(月)から令和元年 9月13日(金)まで

## 4 応募対象となるもの（佐久建設事務所管内における次のもの）

### (1) 地域景観創造部門

建築物（外構を含む）、屋外広告物、庭園（外部に開放されているもの）、モニュメント、彫刻及び宅地開発などで優れた景観を創造したもので、平成27年4月から平成31年3月末までに完成したもの

### (2) まちづくり活動部門（原則として市町村が推薦）

道路・公園等の公共空間の整備若しくは維持管理、住民協定の締結及び運営など、地域住民等が主体となって継続して実践している景観育成活動団体等

## 5 応募方法

応募用紙により持参、郵送又は電子メールで佐久地域景観協議会事務局に応募してください。

（自薦、他薦は問いません。）【電子メールアドレス：sakuken-kenchiku@pref.nagano.lg.jp】

## 6 選考及び表彰

- ・佐久地域景観協議会において選考し決定します。
- ・表彰作品の所有者、活動団体に賞状を贈呈します。（令和2年2月上旬予定）

### ■ 主催 佐久地域景観協議会

（市町村、観光・商工・農林・土木など各種業界団体、建築資格者団体など計38団体で構成）

### ■ 応募・問い合わせ先：佐久地域景観協議会事務局（佐久建設事務所建築課内）

〒385-8533 佐久市跡部65-1 電話：0267-63-3160(直通) FAX：0267-63-3187

ホームページアドレス：<https://www.pref.nagano.lg.jp/sakuken/kannai/kakuka/kenchikuka.html>

## 7 第10回佐久地域景観賞受賞作品例



（軽井沢町 JUSANSOU）

軽井沢の景観に配慮した別荘



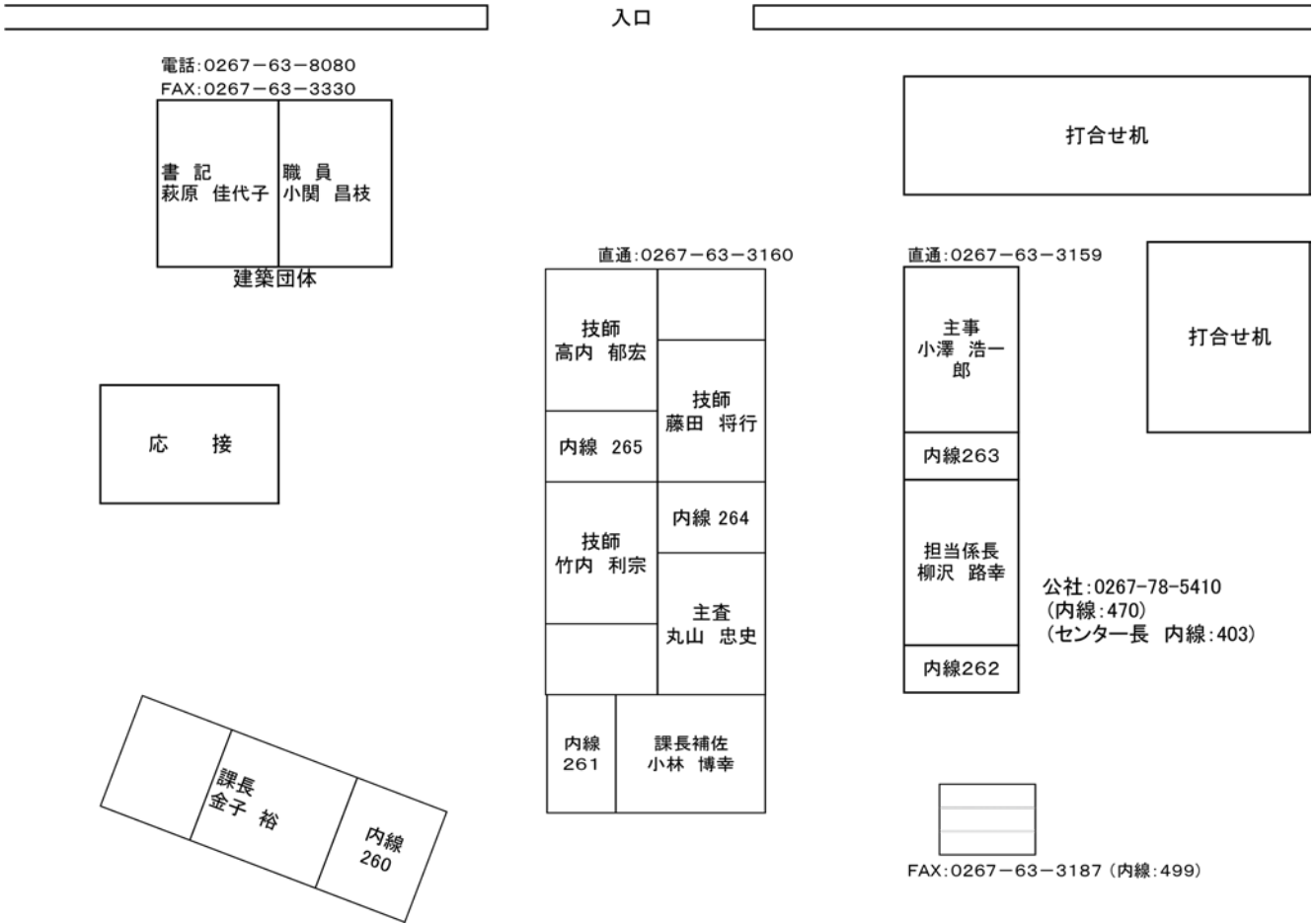
（佐久穂町 大石花ももの里実行委員会）

国道299号線沿いに「花もも街道」を実現おいて、この地域を「花もも街道」にしたいと

### 応募にあたってのお願い

- ・本賞への応募により収集いたしました個人情報につきましては、本賞の審査及び審査結果の連絡等にのみ利用するものとし、目的外の利用は一切致しません。ただし、作品名、所有者・設計者・施工者氏名、所在地（市町村名）につきましては、公表させていただくことがございます。
- ・応募用紙に添付していただきました写真の著作権については、当佐久地域景観協議会に属するものとして、景観育成の啓発に使用させていただくことがございます。また、応募作品につきましては返却致しません。

### 建築課配置図



### \*\*\*\*\* ●編集後記● \*\*\*\*\*

梅雨明け間近、7月21日の日曜日、「ちくま」の表紙写真撮影会が行われました。

今回は、第7番札所「明泉寺」。

1週間前の予定が雨で延期になった為、原稿の締切間近の大ピンチ。

しかし両川委員長の普段の行いが良かったのか、曇り空でありながら雨粒1滴も落ちることはありませんでした。

参加メンバーは9名、最近の撮影会では最多の人数でした。

今回の目玉は、パワースポットと言われる仙人ヶ岳。

しかし、そこに辿り着くまで1時間ほどの山登りになると聞いていたため、相当の覚悟で臨んで来たのですが、住職曰く、「30分ぐらいで登れますよ。小学生も遠足でよく来ますよ。」この一言で一同胸をなでおろしました。

足の悪い若干名を除いて、仙人ヶ岳頂上へ。

佐久平を一望して、パワーをいただき、撮影会は無事に終了しました。

副支部長 土屋龍男

\*\*\*\*\*

**会報『ちくま』第61号 2019/7**

発行者：(公社)長野県建築士会 佐久支部  
情報広報委員会

事務局：〒385-8533 佐久市跡部65-1  
佐久建設事務所内

TEL 0267-63-8080  
FAX 0267-63-3330  
E-mail: ken8080@seagreen.ocn.ne.jp  
支部HP <http://www.aba-saku.com/>